

CLAUDE CODE データ 業務活用

ミダス企業群生成AI横断勉強会

馬渡 大樹
株式会社GENDA

2025-08-08

1.はじめに

1.1. 自己紹介

名前 馬渡 大樹 (Mawatari Daiki)

所属 株式会社GENDA - IT戦略部

職種 データエンジニア / 機械学習基盤エンジニア

GitHub @i9wa4

X @i9wa4_

ゲームセンター / Vim / 飲み会が好き。

このスライドはVimで作りました。

昨日はVim友達と飲み会してきました。友達もVimで作りました。



1.2. 目次

1. Claude Code を組み込んだ開発環境
2. Vibe Data Science
3. 雑多なタスクをやらせてみる

2. CLAUDE CODE を組み込んだ開発環境

2.1. 記事紹介

VS Code や CLI で Claude Code を業務利用するための環境構築方法を記事化
余った時間で記事を見ます



GENDA Creators Blog

3. VIBE DATA SCIENCE

3.1. データサイエンティストの作業が辛い問題

社内外でよく聞く声

- クラウドの計算リソースに依存するのでローカル環境で AI 活用しづらい
- 機械学習に時間がかかるので待ちが長くて気が散る
- 分析や機械学習のためにデータを探索しないと
いけないが膨大なデータマートの調査がしんどい
- 他職種のノウハウ共有を取り入れづらく人口も
少ないのでベストプラクティスが全然出回らない

今日から始める Vibe Data Science -
Preview となった Data Science Age...



Google Cloud Japan
Yuma

 Zenn

8/5 の記事。今回割愛しますが BigQuery Studio が現状最強の DS 環境ですね！

3.2. DATABRICKS を軸とした VIBE DATA SCIENCE 環境

記事で解説しました

Dev Container (VS Code) でノートブックを Databricks 上の計算リソースに接続できるようになってます

3.3. VIBE DATA SCIENCE のお題目

簡単な機械学習をやってください

job/ の既存ファイルを参考にして job/ に追加してください

手順

1. 参考リポジトリの情報を詳しく確認する
 - README.md や CONTRIBUTING.md は必ず読むこと
2. EDA（探索的データ解析）を行う
3. データを利用して機械学習を行う

参考リポジトリ

私のローカル環境に存在するリポジトリ

- dbt リポジトリ1（データマート情報あり）
- dbt リポジトリ2（データマート情報あり）
- Dashboard リポジトリ

要件

- 既存のデータを参考にして10分程度で学習と推論ができる内容
- ビジネス的に有意義な内容

4. 雑多なタスクをやらせてみる

4.1. 雑多なタスク

- リポジトリの資料更新
- データ欠損の Slack 通知処理